

主 要 農 作 物 等

獎 励 品 種 等 特 性 表

令 和 8 年

千 葉 県

目 次

○	利用上の注意	1
1	水稲うるち	2
2	水稲もち	3
3	酒造好適米（認定品種）	3
4	水稲うるち低グルテリン米（認定品種）	4
5	小 麦	5
6	六 条 大 麦	5
7	大 豆	6
8	ら っ か せ い	7
○	水稲品種別作付面積の推移	8

【利用上の注意】

1 編集の概要

本表は、千葉県の主要農作物等（稲、麦類、大豆、及び落花生）奨励品種及び認定品種について、県の奨励品種決定調査で得られた成績等で明らかにされた品種の諸特性を集約したものである。

- ・奨励品種：千葉県の気象、土壌、需要動向等を考慮し、県内で普及すべき優良品種としての位置づけを持つもの（収量、病虫害抵抗性、品質その他栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種）。
- ・認定品種：特定用途での栽培要件にあった品種であり、需要は限られているが重要な位置づけを持つもの。

2 評価方法について

本表に示された「難易」、「多少」、「強弱」、「上下」等の評価は、県が定めた指標品種、比較品種（県内に広く栽培されている品種中、障害の比較的少ない品種）等との相対的比較によって得られたものである。

なお、栽培上の特性、収量等については、あくまでも試験場等で得られた成績であり、一般農家での平均値でないこと、いもち抵抗性も菌の系統（レース）によって著しく異なる場合もあること等にも留意して利用されることが望ましい。

3 項目別の表示について

(1) 来歴

両親名は、母本×父本の順である。また、育成年は、国で育成した品種については国で登録された年、県農試等で育成された品種は当該県で登録された年である。

(2) 採用年度

千葉県が奨励品種又は認定品種として採用した年度を示す。

(3) 適地

土性別（砂壤土、壤土等）、地力別（肥沃地、やせ地等）等、当該品種の普及奨励上の地帯区分を適宜示したものである。

(4) 栽培適性

水稻は、晩植、機械化栽培等、麦にあつては野菜間作、水田裏作等、栽培上あるいは普及奨励上の特性及び留意事項を適宜示したものである。

(5) 概評

当該品種について、総合的に見た特性について、「優点」と「欠点」とに分けて略述したものである。

(6) その他の項目

奨励品種決定調査に用いる区分、表現で示した。

(4)水稲うるち低グルテリン米

栽培型	早晩性	品種名	来歴 〔 育成場所 育成年 〕	採用年度	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	芒の多少・長短	ふ先の色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の色・光沢	玄米の白の多少	心白の多少	腹白の多少	玄米		食味	諸抵抗性					適地	栽培適性	概評		
																			千粒重 g	容積重 g/l		粒径 mm	葉いもち	首いもち	白葉枯	紋枯			耐冷性	耐倒伏性	優点
早期	早の中	ゆめかかなえ (認定品種)	LGC-1(エルジーシー-1) x ひとめぼれ 〔 千葉県農総研 平17年 〕	平 18	7.15	8.24	76	21.3	509	少・やや短	黄白	偏穂数型	難	難	中・良	無	無	無	22.5	829	5.3 x 2.8	上の上	上の中	やや弱	やや弱	中	中	やや強	やや強	良質 耐倒伏性やや 強 穂発芽性難	いもち病弱 耐冷性やや弱

- 1 調査地点：香取市(令和3年～令和7年の5か年の平均値)
- 2 耕種概要：早期栽培、稚苗手植。窒素施肥量は、基肥6kg/10a、穂肥3kg/10a。穂肥は幼穂形成期(幼穂長1mm)に施用。
- 3 出穂期、成熟期及び生育ターゲは、ほ種期を4月2日、田植期を4月25日にしたときのデータ。

(7)大豆

早晩性	品種名	来歴 〔育成場所 青成年〕	奨励品種採用年度	開花 期 月日	成熟 期 月日	生成 態 型	莖 長 cm	分枝 数 本	主節 数	葉型	伸育 性	毛茸 の有 無	花 色	熟 色	裂 性	百粒 重 g	子形 皮 色	粗 蛋 白 質 %	粗 脂 肪 %	品 質	諸抵抗性							栽培 適 性	概 評	
																					シ ス ト セ ン チ ユ ウ	マ メ シ ン ク イ ガ	ウ イ ル ス 病	紫 斑 病	黒 痘 病	力 メ ム シ 類	耐 倒 伏 性		耐 肥 性	強
早	大粒白目	〔東北129号 × 刈交0264MYF ₆ 〔東北農試 平21年〕〕	令和2	8.18	10.31	II C	52	3.6	11.5	銳先卵	有限	有・白	白	黄白	黄	38.8	扁球	46.2	20.7	上 下	大豆-表の大 型機械化体 系に適する	大粒 良質 難裂莢性	10あたり の播種 量が多い	優點	欠点					
中	サチユタカ	〔(フクユタカ×エンレイ) F2 × エンレイ 〔九州農試 平13年〕〕	平16	8.11	11.1	III C	44	4.5	13.2	円	有限	有・白	紫	黄	易	36.2	球	47.4	19.7	上 下	晩播-密播 栽培に 適する	大粒 良質 多収 倒伏にくい	莢害虫の被害を受け易い 裂莢し易い	優點	欠点					
晩	フクユタカ	〔岡大豆 × 白大豆3号 〔九州農試 昭55年〕〕	平15	8.21	11.5	IV C	65	4.3	16.6	円	有限	有・白	淡褐	黄白	易	30.4	球	44.9	20.7	上 下	晩播栽培に 適する	良質 安定多収	ウイルス病に 弱い 早播密播で倒 伏し易い 裂莢し易い	優點	欠点					

1 耕種概要:「里のほほえみ」は水田転換畑(野田市)で、実開35cmとして栽培した。数値データは平成30年~令和4年の平均値。
 「サチユタカ」及び「フクユタカ」は普通畑(彦根市 畑地利用研究室)で、実開70cmとして栽培した。数値データは令和3年~令和7年(粗蛋白質、粗脂肪は令和2年~令和4年の平均値)。
 2 開花期:「里のほほえみ」では7月15日、「サチユタカ」では6月29日、「フクユタカ」では7月6日としたときの開花期。

○ 水稲品種別作付比率の推移

(単位: %、ha)

昭和55年		昭和60年		平成2年		平成7年	
品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率
コシヒカリ	51.0	コシヒカリ	57.6	コシヒカリ	66.0	コシヒカリ	62.9
ハウネンワセ	11.6	初星	12.4	初星	18.7	初星	21.5
トヨニシキ	11.3	* トヨニシキ	5.2	はなの舞い	5.9	はなの舞い	5.2
ハヤヒカリ	6.3	トドロキワセ	5.0	ヒメノモチ	1.3	ひとめぼれ	3.3
* アキヒカリ	6.3	サチミノリ	4.9	* アキヒカリ	0.9	ヒメノモチ	1.4
トドロキワセ	6.2	ハウネンワセ	3.5	ハヤヒカリ	0.8	ツキミモチ	0.8
ツキミモチ	1.6	* アキヒカリ	2.7	ツキミモチ	0.8	* あきたこまち	0.6
サチミノリ	1.4	ハヤヒカリ	2.6	* トヨニシキ	0.8	アキヒカリ	0.6
信濃糯3号	0.6	コチビビキ	0.1	トドロキワセ	0.7	ハヤヒカリ	0.3
水稲作付面積	77,300	水稲作付面積	75,700	水稲作付面積	70,500	水稲作付面積	71,200
平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率
コシヒカリ	66.4	コシヒカリ	69.2	コシヒカリ	68.6	コシヒカリ	66.1
ふさおとめ	12.8	ふさおとめ	11.3	ふさこがね	12.0	ふさこがね	14.3
ひとめぼれ	6.2	* あきたこまち	9.6	ふさおとめ	10.0	ふさおとめ	11.7
* あきたこまち	5.2	ひとめぼれ	4.9	* あきたこまち	4.8	* あきたこまち	3.3
初星	3.8	ヒメノモチ	2.1	ヒメノモチ	1.8	ヒメノモチ	2.0
ヒメノモチ	2.0	ツキミモチ	0.7	ひとめぼれ	1.1	ひとめぼれ	0.7
はなの舞	1.2	初星	0.3	* ツキミモチ	0.2	ふさのもち	0.6
ツキミモチ	0.9	はなの舞	0.2	* マンゲツモチ	0.1	* マンゲツモチ	0.2
* アキヒカリ	0.3	* アキヒカリ	0.1	* はなの舞	0.0	* ツキミモチ	0.0
水稲作付面積	63,200	水稲作付面積	62,900	水稲作付面積	61,400	水稲作付面積	58,300
令和2年		令和5年		令和6年		令和7年	
品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率	品種名	作付比率
コシヒカリ	56.4	コシヒカリ	53.9	コシヒカリ	55.2	コシヒカリ	51.7
ふさこがね	22.8	ふさこがね	25.4	ふさこがね	23.5	ふさこがね	26.2
ふさおとめ	12.5	ふさおとめ	9.3	ふさおとめ	9.2	ふさおとめ	10.8
* あきたこまち	1.9	粒すけ	4.5	粒すけ	5.3	粒すけ	5.9
粒すけ	1.4	* あきたこまち	1.4	* あきたこまち	1.3	* あきたこまち	1.3
ひとめぼれ	0.5	ひとめぼれ	0.4	ひとめぼれ	0.4	ひとめぼれ	0.3
ヒメノモチ	2.3	ヒメノモチ	2.7	ヒメノモチ	2.8	ヒメノモチ	2.4
ふさのもち	0.5	ふさのもち	0.6	ふさのもち	0.6	ふさのもち	0.5
* マンゲツモチ	0.5	* マンゲツモチ	0.5	* マンゲツモチ	0.5	* マンゲツモチ	0.4
水稲作付面積	52,500	水稲作付面積	45,800	水稲作付面積	48,300	水稲作付面積	53,100

*印: 奨励品種外品種を示す。

(県 生産振興課調べ)

注1: 飼料用米を除く

注2: 作付比率の算出について、平成29年産以前は市町村に対する照会を行っていたが、平成30年産以降は種子の配付実績に基づく推計である。

注3: 令和2年より品種の並び順をうるち品種、もち品種の順に変更。

千葉県主要農作物等奨励品種等特性表（令和8年）

令和8年3月発行
千葉県農林水産部生産振興課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
電話 043(223)2980
FAX 043(222)5713